

回覧



# わがまち池上

池上管内世帯人口数  
(外国人住人を含む)  
(令和7年2月1日)

- ・世帯数 25,091
- ・人口(男) 22,396
- ・人口(女) 23,123
- ・人口(計) 45,519

発行：地域力推進池上地区委員会  
編集：地域情報紙  
「わがまち池上」編集委員会  
事務局：大田区池上特別出張所  
〒146-0082 大田区池上1-29-6  
電話 (3752) 3441(代)



発行日3・6・9月の25日、12月15日

私は昭和14年12月生まれの85歳です。貴船坂から税務署前に向かつて池上通りの一本手前に六郷用水が流れていました。その流れの交差点の所で父が魚屋「魚松」をやっており、そこで生まれました。戦後間近の小中学生時代は、店の手伝いで魚の配達をやっていました。店の横を流れる六郷用水では東京オリンピック前の昭和35年頃土手の整備工事をしており、隣接している店の土地が広がりました。私は高校を卒業して2年間会社勤めをしましたが20歳の時に魚屋を手伝い、その後結婚しました。父がくたびれたので魚屋を止めようかと言ったので、平成7年9月に店を引き継ぎ、「お食事処 やす川」として定食屋を夫婦で始め、令和元年9月までやっています。



## 池上の昔を語る(37)

### 保川和之さんに聞く(池上二丁目在住)

戦時中の思い出として、店の前の道が池上通りから六郷用水の橋までは今より坂の傾斜がきつく、空襲で焼けた遺体を本門寺公園の仮設墓地に運ぶ大八車が午前中に1〜2台通るのですが、坂を登るのに苦労しているのが、押してあげました。また、呑川から東急バス車庫前までの区間で、池上通りと六郷用水の間にある家は、建物強制疎開で壊されました。久が原にB29が落ちるのを六郷用水の上流方向に見た事を憶えています。家の庭にも防空壕を掘りましたが、空襲があると、家から今の四中に向かう細い道に入った所の山側の土手に防空壕が3つあり、そこへ母と逃げました。

私が入る池上第二小学校の校舎も燃えてしまったので、戦後の小学1年生は入新井第四小学校でリンゴ箱の机で勉強しました。焼け跡に釘を探して歩き回り水道管等を拾って、屑屋に売ったのを憶えています。すし、釘刺し・ビー玉・めんこ・ベーゴマ等、焼け跡で遅くまで遊びました。今の四中の下の庭園の山本池で、赤イトミミズを取って餌にしてクチボソをよく釣りました。戦後は



まだ木炭車の時代だったので、進駐軍のジープのガソリン排気ガスの匂いがよく、「ギブミーチョコ」と言いながら追っ駆けて匂いを嗅ぎました。我家から池上通りに出て右側に、昭和28年位まで神谷運送店の荷馬車屋があり、だるま型の飼葉桶があった厩に3頭の馬がいて、あるとき馬が暴れて、近くの六郷用水に落ちて大騒ぎになりました。夏になると池上二小の校庭で校舎に白幕を張り、坂妻の「破れ太鼓」やミッキーマウス等を上映しましたが、風が吹くと幕が揺れたので憶えています。

また近所のバス通りの裏道の佐藤自転車の隣の空地に土俵があり、賞品が出る相撲大会で賑わいました。四中正門前の畑に、「肥溜め」があり、よくそこにボソボソと音をさせて石を放り込んだり、大きな樺の樹にお面みたいな瘤があり、驚かされたりしました。そんな悪戯っ子の少年時代の思い出です。



中央八丁目の住宅街に、新しく美術館ができます。場所はJR蒲田駅から徒歩15分程の所で、旧大田区土木材料試験所であった建物(地上3階建)が、用途変更により美術館に生まれ変わります。昨年11月下旬から、内装の改修・外壁装飾・外構改修などの工事が行われ、3月下旬には終了の予定です。

この建物の隣には中央八丁目保育園があり、近所には児童館・第二児童公園もあり環境的には静かな住宅地ですので、アートとゆっくり向き合うには良い立地とも言えます。

また「観る」だけでなく、美術作品を「触る」「聞く」「使う」「作ってみる」などの「体験する」を提供しており、もう一つのコンセプト「学べる」は、実際に東京芸大の先生を招いてのプロの育成講座や、初心者も分かりやすく学べる講座も開設しているとのこと。



# スポGOMI 池上大会



「ゴミ拾いはスポーツだ」を掲げ、第9回スポGOMI池上大会が、昨年末12月1日(日)に池上第二小学校で開催されました。当日は穏やかな晴天に恵まれ、絶好のスポーツ日和。今回は、町会、個人、企業などから21チームが参加。

主催者、大田区長、平将明デジタル大臣の挨拶と激励、ルール説明などの後、参加チームは一齐に決められたエリアに向かい、ゴミ拾いを競いました。道端や植え込みの中のペットボトルやビン、缶、たばこの吸い殻などのゴミを素早くキャッチし、大・小のポ

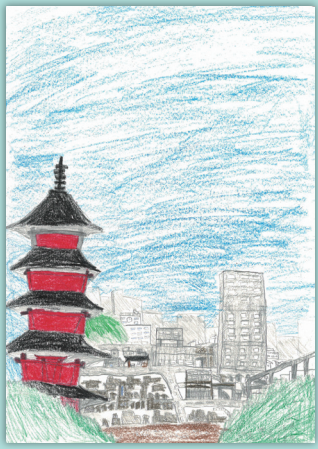


## 池上の伝統お会式 池上小 6年 坂本 大河

池上といえば、お会式だと思えます。七百年もの歴史を体感できるのは、池上ならなくては考えるからです。

しかし、そのお会式も、台風や感染症などの影響で長い間延期されてきました。

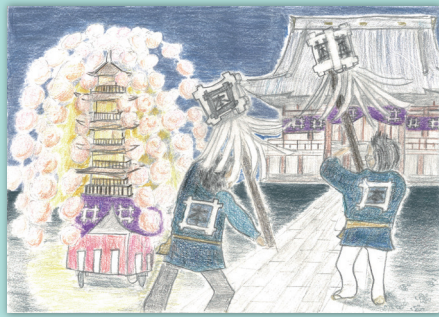
四年生の頃、本門寺の中だけでお会式が行われた際は、少し、もの足りなさを感じて



6年 西塔 祐希男



6年 久保 さなえ



6年 石田 葵彩

しまいました。本門寺だけで行われていたため、「混んでいるし、もう帰ろうか」などといった、お祭りらしくない声も聞きました。そしてその翌年、やっと広い範囲での祭りが行われました。周りからは「やっともどってきた」といった、にぎわいでつつまれました。お祭りのあるべき姿を取りもどしたいゆんかんでした。

また、七百年以上前の人も、私達と同じような風景を見ていたと思うと、うれしくなりました。これからも、この伝統行事を守り続けていきたいです。

リ袋に入れていきます。制限時間は1時間。戻って来た順に、「ゴミの量や種類(質)」でポイントが与えられました。校庭の一角では、カレーライスとお茶が用意され、競争に疲れた皆さんたちに振る舞われました。その後、ジュニアアスリートクラブブライトルズの可愛いダンスのアトラクションもありました。結果は、城南信用金庫池上Cチームが1062ポイントを獲得して優勝しました。2位は、カブトムシ(509ポイント獲得)、3位は、大田池上病院スポGOMI隊(317ポイント獲得)でした。

最後に、すがすがしい蒼天の下で、参加チームの皆さんと主



催者、スタッフの方々も一緒に集合写真を撮りました。

## 堤方十二天つて 何処？

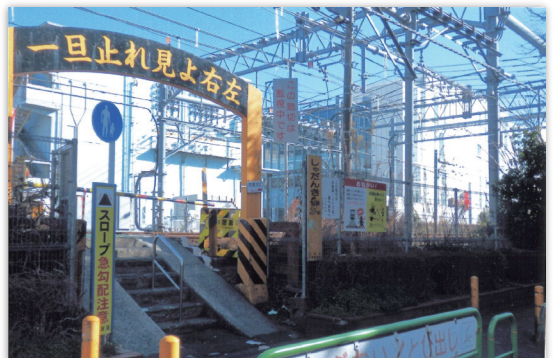
平成9年6月20日発行の本紙第26号に「永い眠りから覚めた」十二天遺跡という記事が載っています。中央8丁目32のスーパーマーケット跡地から出土した奈良朝から平安初期にかけての遺跡の紹介記事です。

十二天は地名で、『新編武蔵風土記稿』(荏原郡(六郷領)堤方村の小名で、「東の方大森村の接地を云。此所に十二天の社あればかく云り」と出てきます。この十二天社は明治42年6月28日、三所神社(現在の堤方神社)に合祀されますが、祭神が仏教系のため埋没してしまつたようです。

それまでの鎮座地は堤方562番地。昔と今の地図を重ね合わせてみると、JRの線路を越えて大森西7丁目のメリーチョコレートの辺りです。そういえば、昔、同社の敷地内には池があり、弁天祠があつたようですが、それが後身ではないかと思われま

実は、堤方十二天は中央8丁目だけではなく、大森西7丁目を含む地域でした。戦後「無頼派」作家として一世を風靡した坂口安吾(1906-1955)が昭和9年から11年にかけて住んでいた大森区堤方町555の十二天アパートは現在の大森西7丁目25辺りです。そこは東邦大学大森病院のすぐ近くですから驚きです。戦後間もない頃は踏切以外でも線路を渡ることができましたが、やがて法的にも規制されるようになり、十二天地区は線路を隔てて文化圏が分断されてしまいました。現在も中央

8丁目の玉子屋と大森西7丁目側を結ぶ、人と自転車だけが通れる小さな踏切があるのは、その名残のようです。



## 青少対だより

ガーデンパーティー池上会場 つなごう！池上！

第74回大田区子どもガーデンパーティー池上会場は、4月27日(日)池上会館で開催します。

池上会場は昨年から池上会館での開催となりました。初めての会場ということで、ご迷惑をかけてしまいました。今年度はその反省を踏まえ、スタッフ一同で取り組んでいきます。

皆様のご来場をお待ちしています。詳細に関しては、ポスター、回覧等でご確認ください。



## 俳壇

徳持北町会 画家 高頭 信子

九十九谷の 影ぼうしより

題 「玄」

冬夕焼奥にひそみし 玄をみる

鬼女ならば描けるであろう 夏の玄

冬は黒夏こそ玄だと みる年令に

玄せまる九十九谷の 冬すがた

※玄とは赤や黄みを含んだ 黒色のこと。

## 編集後記

私は平成13年より本紙の編集に携わらせて頂きましたが、今号にて一身上の都合で卒業させて頂くことになりました。

この18年間を振り返ると、東日本大震災をはじめ数々の大きな災害に見舞われ、また恐ろしい新型コロナウイルスが、平和な世の中を一変させてしまった事も、記憶に新しいことだと思います。そんな18年間でしたが、私は100号記念特集や、大田区ふるさと発見ブックの編集などにも携わることができ、あらためて池上の良さを知り、感謝の気持ちでいっぱいです。読者の皆様、編集委員の皆様、出張所事務局の皆さん有難うございました。今後は一読者として発行を楽しみにしています。(染音倉)